

1. 会社概要（基本情報）

会社名	武士道アセットマネジメント株式会社	
所在地	住所	〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町6-5 FinGate KABUTO 3F
	電話	03-5843-6570
	H P アドレス	http://bushido-asset.com/
代表者	杉山賢次	
金融商品取引業登録番号	関東財務局長（金商）第3060号	
登録年月日	平成30年6月18日	
協会会員番号	012-02830	
業務開始年月	平成30年8月20日	
資本金	5,000万円	
受付窓口	オペレーション部門	
電話	03-5843-6387	
E-mail アドレス	crane@bushido-asset.com	

2. 運用の特色（投資哲学、運用スタイル等）

「ファンダメンタル・アプローチ」に基づく、「株式ロングショート戦略」

上場日本株式を主な投資ユニバースとし、企業の成長力や割安感に注目し、企業への取材/インタビューや独自の財務/業績分析を行うことがアプローチの基本スタイルとなる。これらのファンダメンタル分析は、市場における需給分析、マクロ経済分析、ならびに定量クオンツ分析などによっても補完され、総合的に投資判断が行われる。

ポートフォリオ管理においては、市場変動に関わらず資産価値を保全しつつ安定的な絶対リターンを創出するべく、個別株の買い持ちと売り持ちを組み合わせつつ、ヘッジの為のデリバティブも駆使し、市場変動リスクを低減させるアプローチをとる。保有銘柄・セクター・ファクター要因なども分散させ、可能な限りダウンサイドリスクをヘッジしながら、ファンダメンタル・リサーチによる「アルファの創出」を継続的に追及する。

3. 投資に関する意思決定プロセス

運用責任者であるCIOが、多面的な情報を基に独自の分析モデルを駆使し、投資判断を行う。

4. 運用体制

当社は、顧客となる外国籍ファンドならびに国内外の運用会社を含む適格投資家との間の投資一任契約に基づいて、当該顧客から委託された資産につきそれぞれの投資方針や運用制約に従って運用を行う。

運用部門の運用体制に関しては、当社の運用方針に基づき、運用者各自が投資アイデアを創出し運用を行う。よって、個別銘柄に関する投資判断は各々の投資判断者が個別に行うこととするが、最終責任権限はCIOが持つ。ポートフォリオの構築/修正・執行指示も当面はCIOが行う。

2024年現在では運用部門3名、ミドル・バック部門3名、監査役1名の体制

5. 運用金額

非開示。2024年現在、BUSHIDO Fundの運用のみ行っている。ファンドのほとんどが国内機関投資家や富裕層の投資家構成となっている。

6. 運用実績

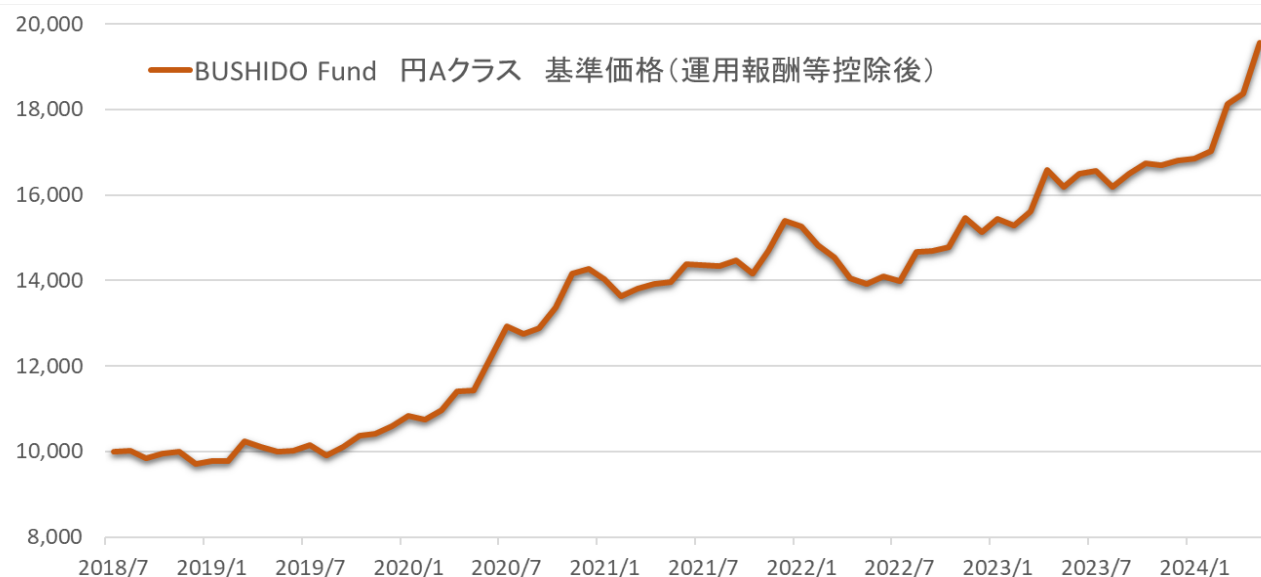
以下はBUSHIDO Fund（2018年8月16日運用開始）の外部評価

2020年 Eureka Hedge Asian Hedge Fund Awards ノミネート

2021年 HFM Asia Performance Awards ノミネート

2023年 HFM Asia Performance Awards ノミネート

以下のグラフはBUSHIDO Fundのドルクラスと円クラスのリターン推移（運用報酬等控除後）。ボラティリティは各々8.8%。



7. アピールポイント

金融大国である日本の運用担当者の多くが、その活躍の場を海外に求める中、当社代表取締役社長である杉山は、日本で生まれた日本人金融プロフェッショナルとして、投資家及び投資先となる上場会社のいる日本で、自ら両者の懸け橋となり、日本市場及び日本経済に貢献することを目標として、独立系運用会社である武士道アセットマネジメントを立ち上げました。

これまでの証券業界及び投資助言業界での経験を活かして、主に日本の上場会社に投資し、投資家に対して安定的な収益を提供したいと考えております。

投資先となる上場会社の状況や戦略を聞きつつ、投資する側からの意見を伝えるため、年間で数百の上場会社と面談を行っています。他の先進国と比較すると機関投資家との対話が少ないと思われる日本の上場会社に対し、建設的な対話による上場会社の価値向上を、ここ日本にて友好的に提案していきたいと考えております。

さらに、日本で独立系投資運用業者として従業員を雇い、収益を上げることも、長期的には日本経済へ貢献する一つの方法であると考え、日本の投資運用業がさらに発展することを願っております。